

令和6年9月期月次景況調査結果

この調査結果は、地区・業種を代表する県内組合の役職員の方から、毎月、業界の景気動向等に関する情報を収集・分析し、行政・関係機関に情報提供しています。

前年に比べ売上は増加している業種が多いが、原材料・エネルギー価格の高騰や人件費の上昇により収益の改善が見られないことから、全体の景況感はほぼ横這いに止まっている。























深刻な人手不足は、外注費の増加や人材確保コストの増加により収益力の足かせとなっており、さらに、最低賃金の大幅な引き上げも相まって、今後の事業経営に不安があるとの報告が多く寄せられている。

山口県の主要指標 DI 値（令和6年9月末現在）

※DI 値とは、前年同期に比べ「増加」・「好転」したとする企業割合から「減少」・「悪化」したとする企業割合を差し引いた値です。

業界の景況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、好転：5.0% 悪化：26.3% DI 値：▲21.3% ポイント
売上高	(< 増加 > - < 減少 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、増加：18.8% 減少：30.0% DI 値：▲11.2% ポイント
収益状況	(< 好転 > - < 悪化 > = < DI 値 >)
	前年同月比は、好転：8.8% 悪化：32.5% DI 値：▲23.7% ポイント

山口県の業種別 DI 値(業界の景況)（令和6年9月末現在）

							
食料品	繊維工業	木材・木製品	印刷	窯業・土石製品	一般機器	輸送機器	全製造業
▲25.0	0.0	▲100.0	▲50.0	▲50.0	12.5	▲33.3	▲25.0
							
卸売業	小売業	商店街	サービス業	建設業	運輸業	その他	全非製造業
▲20.0	▲42.9	▲33.3	9.1	▲27.3	0.0	▲100.0	▲18.7
							
							全体
							▲21.3
							

特記事項（景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点）

食料品	<p>敬老記念品として菓子組合に菓子の注文があり、手数料が支部の収入になるのでありがたい。カカオ不足によりチョコレート菓子の値上げが続いている。</p>	パン・菓子製造業
	<p>水産加工原料の水揚げ減少が続いている。人手不足が深刻で、漁業者の廃業が増加している。</p>	水産食料品製造業 長門市
	<p>円安が少しずつ回復傾向にあるが、原材料や水道光熱費の高騰、人件費(最低賃金)の上がり幅が大きいため、商品の値上げが追い付かない状況。例年9月は人の動きが止まる月であり、取り扱っている商品によっては売上も減少する。これから冬に向けての準備等もあり状況は例年同様である。</p>	水産食料品製造業 下関市
	<p>9月に入っても続く異常な暑さの影響で、仕入用の野菜が少なく価格の高騰が続いている。農繁期を迎えて市場売上は伸びているが、暑さで集会等が減っているのか、注文弁当が伸び悩んでいる。米騒動の煽りを受け、仕入れる新米の単価も上昇。梱包材料の値上前にまとめ買いをしたため、在庫量が大幅に増えた。それらを加味し、11月から商品の値上げをすることを決めた。</p>	食料品製造業
	<p>9月の売上は、全国的に慢性的な米不足で農協の概算金が大幅に上昇するなど、売上高の増加が見込める状況となった。いままでの肥料、農薬、燃料代などの上昇分を吸収できるくらいとなるため、利益率については変更が無い。例年に比べ、異常な高温の日が長く続き、屋外作業について支障が出てきているとともに、乾燥状態が長く続き、山口市南部地域では、大規模な山火事が発生した。本当に危険な状態が続いており、早急な対策が必要となる。地球温暖化対策については、目に見えて進めているような政策がほとんどなく、水素ステーションの構築、燃料電池の積極的な導入など、水素循環型社会の実現に向けた政策の加速化が強く求められている。また、日本の発電量に占める化石燃料の利用率約70%という数値も国際社会的にみても異常に高いので、早急に自然エネルギーの利用と原子力発電の利用に転換させるなどの改善が必要である。イスラエルがガザ地区に侵攻するなど、中東情勢の悪化に伴う世界情勢が混沌として、原油、天然ガス等の資源不足が懸念されている。国際的な原油価格が上昇し、それに伴って、肥料価格が前年比160%アップという驚異的な結果となっている。政府の、原油価格の上昇に伴う損失補填も限界にきているようだが、特にガソリン価格の対策費の継続と食料安</p>	精穀・製粉業

	全保障対策を早急に図るなどの措置が必要となってくる。おって、北朝鮮、中国などの情勢を注視しながら、迅速に対応することが必要となる。山口県農林水産部は、輸出に向けたコミュニティを設立するなど、県をあげて、輸出への対応を推進しているので、それに向けた対応も必要となる。	
繊維工業	新型コロナウイルスの影響も資材の値上げも一段落ではあるが、二段目として、これから人件費の上昇が始まるので、注視していきたい。	外衣・シャツ製造業
	10月から原材料の値上げがあるため、在庫の先入れを行い在庫が増加した。暑さが長引いたため、暑さ対策需要が増加した。	帆布製品製造業
木材・木製品	組合員の平均売上額は、令和5年9月と比べ10%の減少。住宅需要の低迷等により製材品の売上げ減少が続き、それに伴い、設備操業度の低下も続いている状況。	製材業・木製品製造業
印刷業	9月も受注が伸びることもなく、逆に値上がりラッシュで経費がかさみ、経営は厳しい状況が続く。	印刷業 山口市
	現在、全国的に外国人労働者の雇用は、労働力不足を補う手段として増加し一般的になっているが、政府は今年3月に特定技能制度の対象分野の追加、及び既存分野の対象業務の拡充を閣議決定した。新たに印刷・製本業務が追加されたことで、印刷業界ではこれまでの技能実習制度から特定技能制度対象となり、業界全体の外国人労働者雇用に間口が大きく広がったといえる。今のところ、山口県内の当組合員には、外国人労働者を雇用しているケースは見当たらないが、今後法制化されればそういう動きも出て来る可能性はある。受注状況や業績に加え、働き方改革や外国人労働者の問題等、様々な労務制度の変更等に対する対応や規定整備なども求められる時代となった。	印刷業 下関市
窯業・土石製品	調査機関により設計価格の設定がされるが、約6ヶ月程度後に反映され、常に利益が圧迫される現状。4月より値上げを実施した結果、調査機関での設計価格の設定が9月に変更され例年より1ヶ月短縮された。(例年10月に変更：期間6ヶ月間)6ヶ月後でないと反映さなかったのが5ヶ月後となり、わずか1ヶ月だが、ある程度は前進できたと感じている。	コンクリート製品製造業 柳井市
	現在特殊物件が出荷されているので、売上は増加しているが、特殊物件を除けば出荷量は減少である。令和6年1月に値上げを実施、9月より経済調査会の単価に反映され、建設物価は10月より上がった。一昨年は6ヵ月で反映されたのに今年度は10ヶ月かかり、年によって反映時期が変わるのは疑問に思う。	コンクリート製品製造業 防府市
	出荷量は、前月比69%、前年同月比91%。現時点では、セメント・骨材等の資材調達は、特に問題は生じていない。生コン販売価格は安定している。	生コンクリート製造業

	<p>夏季休暇が終わり、例年であれば秋のシーズンに入るが、暑い日が続いた影響もあり小売販売の売上は目標には届かなかった。プロパー商品も、コロナ以前のような注文も入らず思うようにはいかない。秋の萩焼祭が 10/12～10/14 の 3 日間開催されるので、その為の在庫を用意する期間と考え踏ん張り時であった。いくつかの窯元は西日本では最大級の陶磁器フェスタ「西日本陶磁器フェア（9/19～9/24）」に出店し、昨年と同等位を売上げた。</p>	<p>陶磁器・同関連 製品製造業</p>
一般機器	<p>4 年に 1 度のコンビナートの定修工事が始まり、来年の 5 月まで続く。出張者も多く、市内に宿泊先も空きがなく、通勤時の渋滞もひどい状況。もう少し、定修回数、日数を増やし、少しでも分散できると助かる。特に、人手不足、働き方改革の問題もあるので、いずれ深刻になると思う。</p>	<p>一般機械器具製造業 下松市</p>
	<p>人手不足による外注比率が増加し、利益面で先出分も含めて悪化傾向となった。人員確保は通常の募集では集まらず、投下費用に対しての効果が見込めず苦しい状態が続いている。外国人人材の確保が難しくなったうえに、休日を増やしたことにより量が消化できず、人手不足の影響が続きそうである。顧客が、自社設備を廃棄したり、海外発注したり、国内の発注先をころころ変えたり、国内の下請けを値切ったり等の影響で、国内の特殊鋳鋼素材の製造能力不足となり、日程が遅れる事が 1 年続いている。受注量は多く価格も値上げを受け入れてもらっており、この先の見通しも良く、売上が落ちることはないと思われる。</p>	<p>一般機械器具製造業 防府市</p>
	<p>各業種とも当面の事業量を確保し順調であるが、引き続き人材の確保に苦慮している。特に、介護、建設、食品加工については切迫している。中小企業にとって大企業と同じような賃上げをすることは至難の業であり、正規、非正規を問わず日本人材を確保することは困難を極めている。販売価格の適正化、下請け企業への適正価格での発注指導が必要。外国人材確保の面でも、依然として低賃金、円安の影響は大きく、特にベトナムでは高賃金の韓国への希望が高い。また、簡易な手続きで行ける台湾の人気も高くなっている。世界各国との人材確保競争は厳しくなっており、引き続き日本が選ばれることは厳しいと考えられる。従って、賃金対応のみならず早急に多文化共生社会づくりへの対応による生活環境、文化環境、教育環境等の日本の魅力づくりが求められる。当面、受け入れ国の多様化で人材確保をすることで対応せざるを得ないが、ミャンマー、バングラディッシュ等の送り出し国においては政情不安がありあまり期待できない。今後は多数の人口を抱えるインドネシア、インドからの受け入れが多くなることが想定されるが、現状の賃金環境が継続</p>	<p>一般機械器具製造業 宇部市</p>

	<p>するといずれは行き詰ることが想定される。また、国内での競合も激しく、特にベトナムでは都会の高賃金に対抗できず、地方の企業で募集しても人が集まりにくく苦慮しているのが実情である。特定技能制度の下、高賃金を求めて転籍も多い状況が継続している。</p> <p>状況は変わらず、収益の確保に苦心している。</p>	
	<p>前月同様であり、特に変化はない。外国人技能実習生 2 名の座学が 9/26 に終了し、日本語能力向上についての補助金も受領できた。令和 7 年 1 月には次の受入を予定している。</p>	<p>一般機械器具製造業 下関市</p>
輸送機器	<p>鉄道車両関係の受注量は 2024 年度下期以降減少となる見通し。2026 年度から台湾新幹線の受注見込みがあるものの確定までは至っていない。人件費や原材料費・電気料等の高騰により、収益悪化が続くものと思われる。半導体製造装置の部品製造業において、当初の予測よりも大幅に受注量が減少し低位で推移しているが、2025 年度前半に復調する見通しが、多少ずれ込む可能性がある。</p>	<p>鉄道車両・同部品製造業</p>
卸売業	<p>倉庫保管率が高水準で推移しているため、保管営業収入は安定しており、設備投資(整備、交換等)を計画通り実施できている。</p>	<p>乾物卸売業</p>
	<p>漁港の水揚げが前年を上回り、ほぼ前年並みの売上となったが、各種価格高騰のため収益の改善は見られない。</p>	<p>生鮮・魚介卸売業</p>
小売業	<p>売上状況は前年に比べて微増。「段々とお客さまが戻ってきた感じ」という声がある。化粧品専門店としての強みである肌に触れる活動が行えるようになり、リピート率も上がっている模様。最近ではお店の認識を得るために、専門店の魅力に加え、地域の祭典に出店したり、新商品に絡めて体験会のような催しを行う等、独自の活動を行うことで、地域での存在感や独自性を高めている。存在感を高める事が売上及び新規客の増加に必要であると思う。</p>	<p>化粧品小売業</p>
	<p>2024 年産米を J A が集荷する際に農家に前払いする「概算金」が、昨年比べ大幅に増加したことから、業界全体に多少活気は戻ったものの、依然として低調に推移している。</p>	<p>農業用機械器具小売業</p>
	<p>売上は前年同月比 2% 増加。3 連休が 2 回あり、観光需要を中心に消費者の購買意欲の高まりがみられた。一方で、従業員確保の課題に引き続き直面しており、特に雇用面やコスト増加が収益性に大きく影響を与えている。</p>	<p>各種商品小売業 萩市</p>
	<p>9 月の供給高は前年比 106.5%、来店者数 99.1%。お米が売れており、9 月の前年比 261.6%。スーパーのお米が落ち着いてきた様子で、在庫数量が増加、値引きを始めた。猛暑と台風の影響で、野菜の入荷が不安定となっている。</p>	<p>各種商品小売業 下関市</p>

商店街	飲食業は宴会需要が落ち込む季節であり、物販業では下半期の仕入れが増加する。そこに諸処のコスト上昇が重なり、今年は顕著に資金繰りが悪化。また、このタイミングでの選挙は経済活動を停滞させ、商業にとってはメリットが少ない。安定的な流通経済になって欲しい。	岩国市
	ビアフェスが9月21・22日に青空公園で開催された。地ビールを中心に一日中飲み放題で大盛況であったが、4割は市外・県外からのお客であった。イベントが浸透している証拠なのでこのようなイベントをもっと増やして来客に繋げていきたい。	周南市
	青果業界は過去に例がないほど、異常な高値と品不足が続いている。利益が大幅に減少し赤字の店舗が増加している。先行きがかなり厳しい状況になっている。	山口市
	依然として消費の鈍さは続いている。	宇部市
	猛暑も弱まり、商店街への来街者は若干増加したが、業種により売上げの増減にばらつきがある。経営者の営む店舗においては、売上高等が好調の様相。消費者が望む消費トレンドを見極めていかなければならない。	萩市
商店街の人通りが少なくなっている。10月2日のプレミアム商品券販売で、商店街の活気を取り戻していきたい。	下関市	
サービス業	近年稀な残暑が続く、9月も酷暑と言われるようになったが、秋も近づきイベントも増えて、例年通りで推移している。	美容業
	経営環境において回復傾向が見られる中、円安、物価高騰等の影響で引き続き厳しい状況が続いている。	理容業
	山口県8月の新車新規登録台数は、登録車2,564台で対前年同月比12%減、軽自動車は2,160台で対前年同月比2.2%減と全体で7.1%減となった。全国においても3.9%マイナスとなった。対前年営業日が1日少なく月末に台風が接近したこと等複数の要因が考えられるが、今後の動向が非常に気になる。 「OBD検査」が10月から実施となるが、これまでになかった検査項目のため、対象検査機器購入補助金（国交省が実施）の申請も67%の消化率にあり準備も進んできた。現在、国交省も検査開始にあたり広報を行っており、今後、各事業場では検査対象車についての手数料等の発生が予定されているが、混乱等が発生しないか注視したい。	自動車整備業
	こども会員は対前年比で微減、成人会員が増加で売上は変化なし。金融機関からの借入で資金繰りは好転している。減少した雇用人数は新規雇用の目処がたった。	スポーツ・健康教授業

	<p>真夏と真冬はクリーニング店の閑散期と言われるが、今年は原材料、光熱費等の高騰の影響もあり厳しい事業所が多い。10月からの最低賃金の値上げで、雇用のある事業所はさらに厳しい状況が予測される。クリーニングにこだわらず新しい価値を見出し、利益を上げることが急務である。</p>	普通洗濯業
	<p>スタッフが学校や仕事の関係などで出勤日数が減っており、人材の確保が急務である。</p>	飲食業
	<p>現在1施設が建て替えのため休業しているが、その稼働時の前年同月と比べて売上・宿泊人数とも上回っている。陸上実業団の大会や映画撮影等のイベントの開催や、大手の湯田温泉5連泊ツアーが催行されていることが要因と考察される。インバウンドも前年同月比で173.4%、4月からの累計では128.4%と伸びている。</p>	旅館業 山口市
	<p>前半は厳しい暑さが継続しエアコン等の故障が続いた。夏休みが終わったので、浴場一部を週休3日とし、売店部門を縮小して人件費減で対応した。過去の入浴料金の値上げも影響し、浴場部門は若干の売上げ増となった。</p>	旅館業 長門市
建設業	<p>中電への工事申請213件(当支部135件)、前年同月148件(同129件)。太陽光発電への申請23件(前年17件)、オール電化申請129件(前年73件)。LED街路灯への切り替え・新設申請15件(前年36件)であった。</p>	電気工事業
	<p>2年前と比べ、技能者一人当たりの工事売上高が約1割増加している。完成工事高及び採算は回復の方向へ向かいつつある。</p>	左官工事業
	<p>引き続き、官公需落札が順調で、組合員は皆忙しくしている。また、9月最終の週より民間工事の申し込みが相次いでおり、これから忙しくなると思われる。</p>	管工事業
	<p>市中案件、官庁工事ともに仕事量が薄く、手持ち工事量が減少傾向。次年度着工予定の工事があっても足元の案件がなく非常に苦慮している。来年、再来年予定の予算見積りが多く受注できるか不透明小規模の鉄骨工事、改修工事等の見積りは見受けられるが、先細り感が否めない状況で同業他社とのシェアにより工場工程を補っている。仕事量が少ない上に副資材や消耗品の値上げが続いておりコスト管理が難しい。</p>	鉄骨・鉄筋工事業
	<p>世界情勢の不安定な状況が改善されない中、国内では大企業のみが好景気を謳歌しつつも、中小企業ではコロナ支援給付金の廃止、貸付金の返還等が影響してか倒産件数が増加しており、インバウンド需要も全く影響がない状況。安心・安全を確保するための公共事業が経済を安定させ、近年の災害における被害状況を鑑みても国土強靱化対策に土木建設業としては大いに期待する。</p>	一般土木工事業 柳井市

	9月の受注高は、対前年同月比 219.3%。今年度の累計では対前年比 175.4%。8,500 万円超えの工事が 2 件と、1,300 万円～3,600 万円超えの工事が多数あった。	一般土木工事業 萩市
	上半期の公共工事発注高は例年の 8 割弱であり、第 3 四半期の早期発注を望む。	一般土木工事業 長門市
運輸業	9 月も 3 連休が 2 回続いたり、悪天候の影響があったためか、なかなか思うようには状況が好転しなかった。新総裁の就任がどのように影響してくるのか静観すると共に、少しでもこの業界にとって明るい未来が開かれるように願っている。	一般貨物自動車運送業 下松市
	荷物運送量・倉庫保管量共に増加傾向にある。製造業関係の増産の動きがみられ、倉庫保管についても順調に増加している。人員の出入りが少し増えている。	一般貨物自動車運送業 宇部市
	タクシーチケットの取扱い金額（税込み）は、前年比▲7.8%（令和 6 年 8 月 1 日～令和 6 年 9 月 20 日分 今期 23,844 千円 前期 25,854 千円）だった。8 月 1 日～末日分は▲11.4%（今期 14,373 千円 前期 16,230 千円）。9 月 1 日～9 月 20 日分は、▲1.6%（今期 9,471 千円 前期 9,624 千円）。8 月分の落ち込みほどではないが、9 月分も前年割れの売上になりそうである。タクシー料金単価は令和 5 年 8 月から 10% 値上げ改定されているが、諸費用の値上がりにより、給与収入も企業収入も追いつかない等で、需要が減少していると思われる。当組合の取扱いタクシー事業者は、周南市、光市、下松市、防府市の地域。8 月分については、周南▲13.1%、下松▲15.8%、光▲18.7%、防府市地区が▲3.4%で、組合員の全域では▲12.4%、地区外（員外）▲3.5%、合計▲11.4%。（▲1,857 千円）だった。主要燃料である LPG については、CP（通告価格）や為替によって変動する。燃料単価は、9 月分は前月より下がったが、前年よりも +4 円/ℓ。マスコミでも話題になっているが、タクシー乗務員は労働条件が厳しい（賃金が少ない）事もあって、慢性的危機的に不足している。実働車両が大幅に減少している。「乗務員さえ確保できたら、もっと売上が増やせるのだが。」と言う意見も聞くが、日曜や月曜日は大幅に少ない稼働台数でも充分で、配車室人件費がもったいない位だそうである。8 月から、運賃改正の効果がなくなり（前年と同単価）、売上減少、需要減少がはっきり見えるようになった。郵便料金の値上げや最低賃金の引上げ等もあり、大不況に陥らないかと心配している。	一般乗用旅客 自動車運送業
	9 月の取扱高は、対前年比でかなり減少したが、大きな変動ではないと考えている。	港湾運送業

その他	介護事業所では人材不足が慢性化しているが、さらなる最低賃金の上昇で人件費が高騰しており、経営状況が悪化している事業所が多い。特に、社会福祉法人や医療法人以外の民間企業は厳しい経営が続いている。提供する食事や原材料・エネルギー価格の高騰も続いている。今後の事業経営に不安があるとの報告が多く寄せられている。	介護事業
-----	--	------